

むすめかぶきと 伝統芸能

『源氏物語を知られば分かる日本文化』

講演 高橋 亨 名古屋大学名誉教授

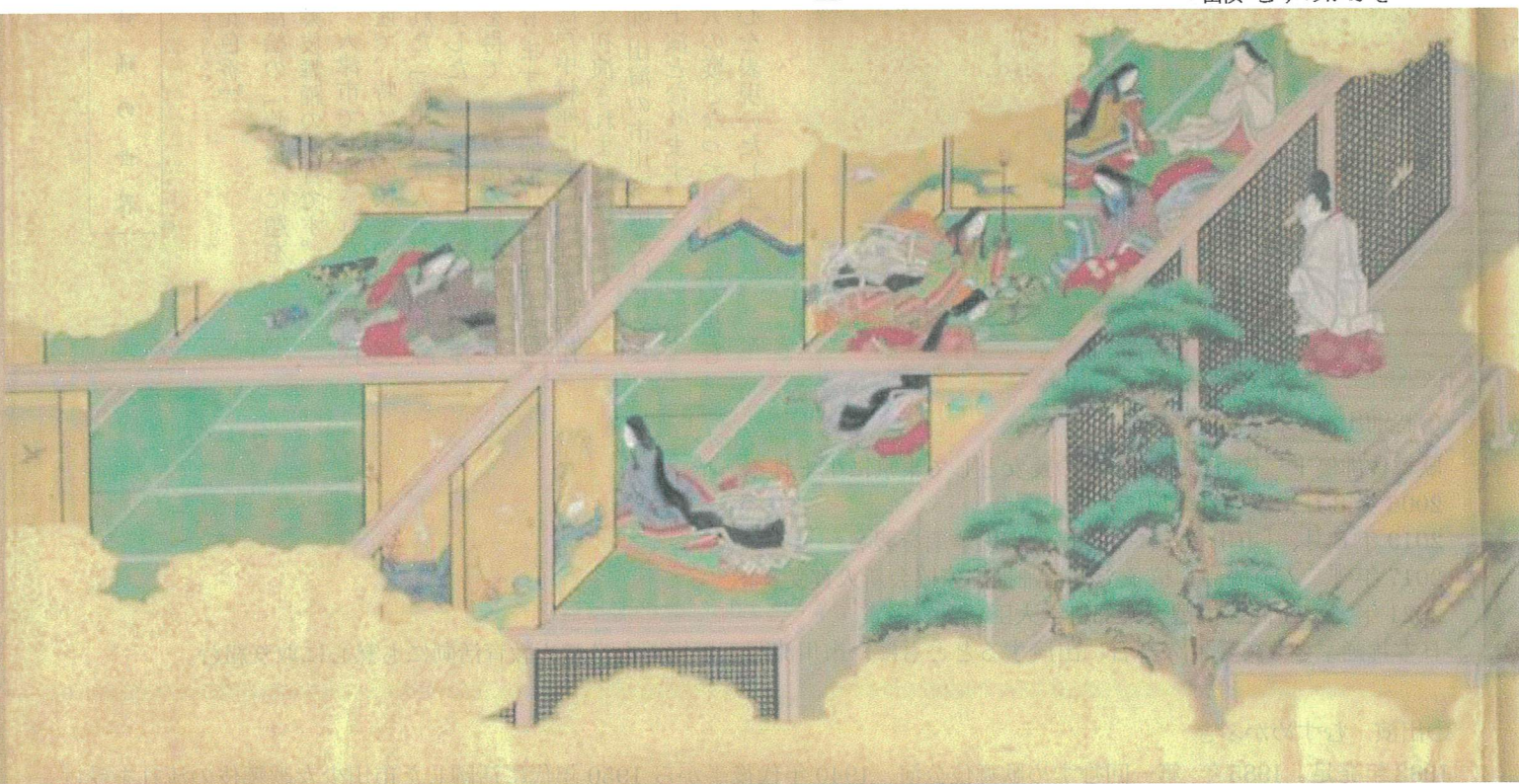


特別出演 市川 翠扇



出演 むすめかぶき

千葉県誕生150周年記念
成田市制施行70周年記念
成田伝統芸能まつり春の陣



2024/5/25/土 〈入場無料・座席指定〉
事前申込制 (5/1 受付開始)

場所/成田市文化芸術センター
(なごみの米屋 スカイトウンホール)

アクセス—JR 成田駅東口徒歩1分、京成成田駅西口徒歩2分

時間/13時30分開場、14時開演 (16時終演予定)

1部『源氏物語』の世界 第1巻「桐壺」バイオリンと朗読と舞踊

—『源氏物語特別講演』講師 高橋 亨 名古屋大学名誉教授—

朗読 市川翠扇 市川阿朱花 柴川菜月 バイオリン 高橋妙子

舞踊 市川櫻香 花柳京平 (賛助)

2部 古典舞踊の世界 『藤娘花色香』

出演 市川翠扇 市川阿朱花 柴川菜月



高橋 亨



高橋 妙子



市川 櫻香



(賛助)
花柳 京平



市川 阿朱花



柴川 菜月



市川 舞花

主催 成田伝統芸能まつり実行委員会

問合せ・申込先 成田市観光プロモーション課 0476-20-1540



WEB 申込はこちらから



源氏物語の世界

平安時代の中頃、紫式部により『源氏物語』が生まれました。それから遙か千年後の今でも世界中で研究され愛され続けているのはなぜでしょうか？人の普遍的な心を綴る『源氏物語』はもののあはれに満ちて、平和を願う現代にも助言を与えてくれる、先人からの宝物と言えるのではないのでしょうか。二〇〇九年『源氏物語千年紀』にあたり、むすめかぶきは京都上賀茂神社において先、十二代市川團十郎先生の御監修により「須磨」奉納公演の機会を賜りました。

この度は物語の始まりを描く「桐壺」の巻を現代語訳の朗読と舞踊にして、演奏はバイオリンによるバツハとボルトムベスク作曲『望郷のバラード』との共演でご覧いただきます。

古典舞踊の世界

『藤娘花色香』 ふじむすめはないろか

藤娘は、大津絵の「藤娘」に題をとった、長唄による歌舞伎舞踊の演目です。

大津絵とは、大津市で制作された江戸時代初期からの名産で、特に藤の枝をかついだ美しい娘が描かれた「藤娘」は人気があり良縁の護符とされました。舞踊の「藤娘」は大津絵からヒントを得て、藤の花の精が娘の姿で現れ女心を踊ります。作曲は四世杵屋六三郎。文政九年江戸中村座において五変化所作事の一つとして初演されました。

この度は特別出演の市川翠扇をはじめとする三名での上演となります。

藤の精達が人の姿となって現れ、今も昔も変わらぬ人の心を表現いたします。

○特別出演 市川翠扇

歌舞伎俳優十二代目市川團十郎の長女として東京に生まれる。

2006年8月、三代目市川ぼたんを襲名。

2019年8月、「市川會」にて四代目市川翠扇を襲名。

2017年『二人道成寺』桜子で、舞踊批評家協会新人賞受賞。

2021年 第71回芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。

日本舞踊家として数々の舞台に出演するとともに、市川流門下の指導をはじめ教育活動にも熱心に取り組む。

○出演 むすめかぶき

1983年発足。1985年 第一回むすめ歌舞伎公演。1940年代後半から1950年代に活躍した市川少女歌舞伎の流れを受け伝統歌舞伎を女性で上演する。1991年 十二代目市川團十郎監修「歌舞伎十八番鳴神」上演。

1992年 十二代目市川團十郎より約四十二年ぶりの女性歌舞伎役者として(櫻香他三名)市川姓を許される。

2005年 市川團十郎指導「歌舞伎十八番勸進帳」「新歌舞伎十八番紅葉狩」「歌舞伎十八番外郎売」

2007年「第一回櫻香の会」十二代目市川團十郎特別出演「関ノ扉」「隅田川」名古屋能楽堂にて、男女共演の歌舞伎公演を初上演。2008年 上賀茂神社奉納舞踊【十二代目市川團十郎の描く源氏物語】『源氏物語』第十二帖・須磨／出演 雅楽東儀秀樹、むすめかぶき

以後、時代の移り変わりと共に性別を超え、ジャンルを超え、真の芸術のあるべき姿を求めて広く伝統芸能の普及啓発を行っている。

○「源氏物語」講師 高橋亨

日本中古文学研究者。名古屋大学名誉教授。平安朝物語文芸を中心とした文学の諸問題を、おもに表現論的な方法によって研究している。主要なテーマは、源氏物語論、初期物語表現史論、語りとテキスト理論、芸術論と文学。1982年インディアナ大学で世界初「源氏物語」国際研究会に参加を契機に日本の古典文学「源氏物語」の研究活動を続け、国際的な多くの人材を送り出している。

○バイオリン演奏 高橋妙子

武蔵野音楽大学、大学院修士課程修了、東京芸術大学研究生終了。アメリカ・インディアナ大学音楽学部、客員研究員。東京ゾリステンを経て、名古屋フィルハーモニー交響楽団で活動、2004年退団。

現在も室内楽を中心に活動、後進の指導も積極的に行っている。